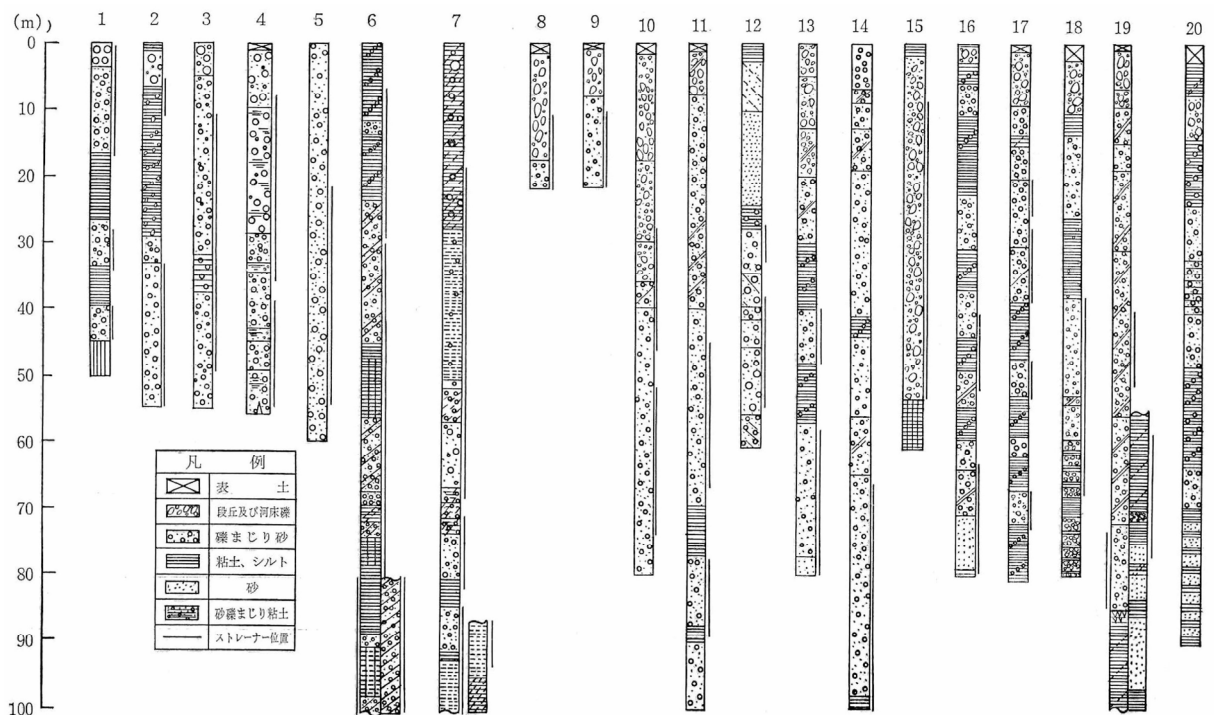


### 地形・地質

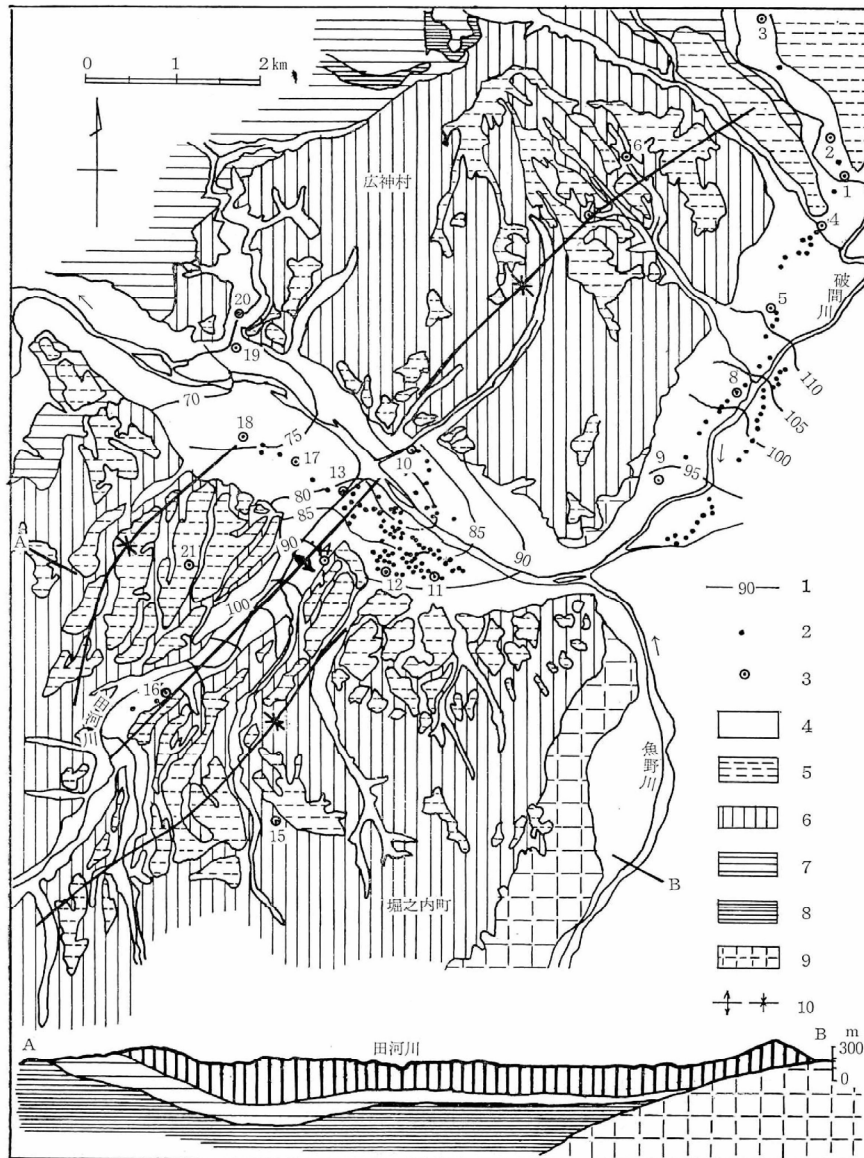
新潟県のほぼ中南部に位置する魚沼丘陵は、信濃川の支流魚野川と破間川を東の境とし、信濃川を西端とする地域をいい、大半が丘陵と台地からなっています。地質は魚沼層群で、大部分が砂・礫・粘土からなります。



北魚沼地域の地質柱状図

## 地下水

北魚沼地域の井戸は、破間川や魚野川横谷部の沖積面に多く分布し、沖積や洪積砂礫層を合わせて帯水層としています。魚沼層群の互層中から汲み上げている井戸は、被圧地下水で自噴しているものが多いです。使用用途は消雪用の割合が多いです。



1: 地下水位等高線(標高m)、2: 深井戸、3: 井戸柱状図位置、4: 沖積層、5: 洪積段丘堆積物、6: 魚沼層群(砂、シルト、礫互層)、7: 和南津層(砂岩)、8: 灰爪層(シルト岩)、9: 西山層(安山岩質火砕岩、溶岩等)、10: 褶曲軸

### 北魚沼地域の水文地質図

出典 日本の地下水(農業用地下水研究グループ,1986)(一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwddb.html> (日本地下水学会)